

日本小動物がんセンター 猫リンパ腫プロトコール

ID.	名前.	タイプ
導入期)		維持期)
Week1 (/ /)	L-アスパラキナーゼ(400単位/kg,IM) ピンクリスチン (0.025mg/kg, IV bolus) デキサメサゾン (0.5mg/kg,IMもしくはSlow IV) 2日目～ プレドニゾロン (5mg/cat,PO,q24hs～BID)	Week11 (/ /) サイクロフォスファミド
Week2 (/ /)	サイクロフォスファミド (10mg/kg, IV bolus)	Week13 (/ /) ピンクリスチン
Week3 (/ /)	ピンクリスチン	Week15 (/ /) メソトレキセート
Week4 (/ /)	メソトレキセート (0.8mg/kg, IV bolus)	Week17 (/ /) ピンクリスチン
Week5 (/ /)	ピンクリスチン	Week19 (/ /) サイクロフォスファミド
Week6 (/ /)	サイクロフォスファミド	Week21 (/ /) ピンクリスチン
Week7 (/ /)	ピンクリスチン	Week23 (/ /) ドキシソルビシン
Week8 (/ /)	ドキシソルビシン (1mg/kg～25mg/m ² を25～50mの 0.9%生理食塩水に希釈し60分かけて静脈内投与) メトクロプラミド (0.2mg/kg,PO,TID×5days)	Week25 (/ /) ピンクリスチン
Week9 (/ /)	ピンクリスチン	Week27 以降³⁾

1) 変更型 North Carolina State University プロトコール

2) 化学療法剤投与前にCBCを毎回実施。好中球数が2,500/ μ l以下、血小板数が75,000/ μ l以下の場合、化学療法剤投与を2～4日延期すること。血液化学検査は定期的に実施すること。

3) Week27以降も完全寛解が維持できている場合は2週間毎に同様のプロトコールを6ヶ月間継続。治療開始から1年後に完全寛解が維持できている場合は3週間毎に同様のプロトコールを6ヶ月間継続。その後は定期検診のみを継続。